

## 九華山・地藏菩薩

九華山（きゅうかさん）は、中国・安徽省池州市青陽県にある山。九華山は、中国の仏教で言うところの聖地で、中国四大仏教名山（五台山、九華山、普陀山、峨眉山）の一つである。地藏菩薩の霊場とされる。

漢代には陵陽山と呼ばれ、南北朝時代の南朝梁と陳の時代には九子山と呼ばれた。唐代の詩人李白が天宝 8 年（749 年）頃に訪れ、「妙有分二氣、靈山開九華」と詠んだと伝わる。新羅の金喬覺和尚（金和尚、金地蔵、僧名を地藏、696 年 - 794 年）がこの地の化城寺で修行中、齢 99 で入滅した際、3 年経って棺を開いて塔に奉安しようとしたところ、その顔貌が生前と全く変わることがなかったことなどから、地藏菩薩とこの僧を同一視する信仰が生まれ、地藏王菩薩（仏教の地藏菩薩が、仏教道教混淆の十王思想と結びつき、閻魔王と一体として死者を裁くとされる）の聖地となった。明代や清代には興隆を誇り、360 山以上の寺院に 4,000 - 5,000 名の僧侶がいた。

南北朝時代（420～589 年）、ここには美しい 9 つの峰があるために「九子山」と呼ばれていた。唐の時代に、李白がここを遊覧した際、9 つの尾根が蓮花のように見えたため、「妙あり 二氣を分かち、靈山 九華を開く」という詩句を残した。そのため、このときより「九華山」と呼ばれるようになったのだ。

7 世紀のころ、新羅（いまの朝鮮半島）の王子・**金喬覺**が海をわたって唐に入り、75 年もの間、九華山で修行をつづけ、99 歳のときに円寂（涅槃）したといわれている。甕に納められたしかばねは 3 年たっても腐敗せず、生きているように見えたため、人々に「地藏菩薩の化身である」とみなされた。それ以来、九華山は地藏菩薩の道場となった。

九華山には 90 あまりの寺院がある。僧と尼が約 700 人いると言われている。



九華山の前に杭州の古い町見学



九華山の入り口



霧の九華山の町



夕食を精進料理レストラン



精進料理大変美味しかったです。



魚に似た料理、豆腐だそうです。



皆さん6名での地藏菩薩お参りです。



ホテルの入り口です。



夕方の地藏殿



東明寺住職 悟灯さん



夕暮れの九華山のみもと。



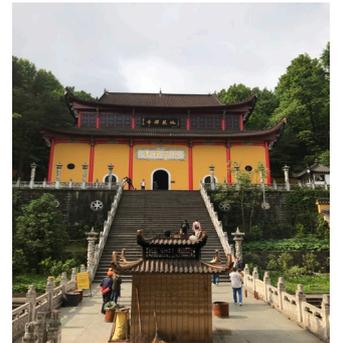
夜景



護国月身寶殿と書かれています。



地藏殿の入り口の石門



地藏禅寺



彌陀殿



月身宝殿



地藏羅漢ですか？

千の階段を登りました。

鐘楼



鼓楼



ケーブルカーで百歳宮（万年寺）



万念寺から見た町並



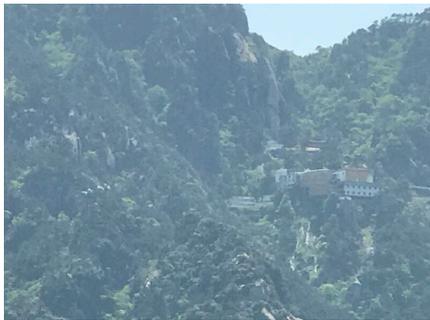
肉身殿



即身仏



万念仏から見た天台山



万念仏から見た天台山



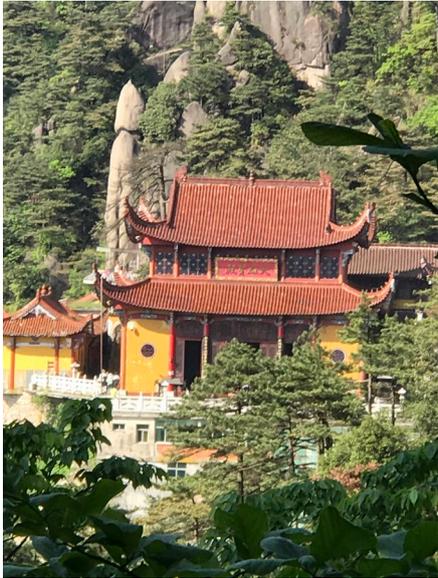
ロープウェイで天台山へ



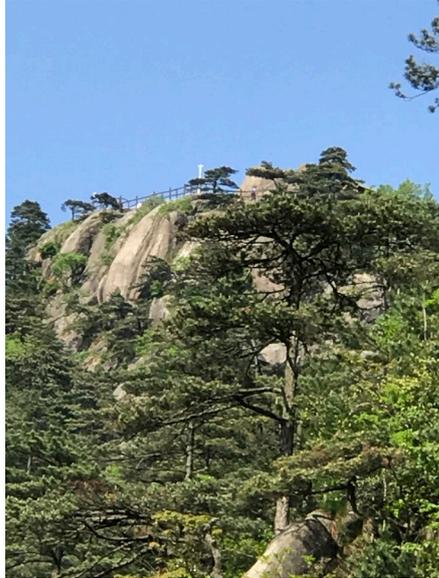
山は深い、下を見ると怖い



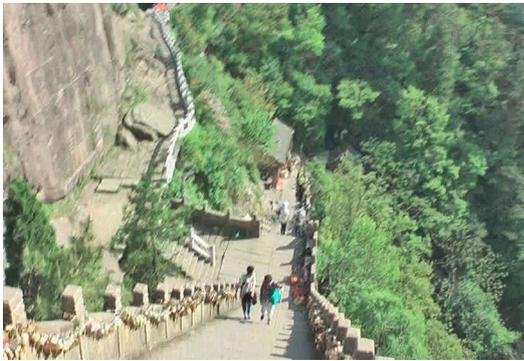
天台山から見た万念仏



天台山山頂



天台寺



天台山



全体地图



2017年5月9日の名月（九華山）



九華山甘露禪寺



ご本尊



鐘楼



甘露禪寺の壁画



布袋さん壁画



九華山佛學院（甘露禪寺の住職の学内の案内）



九華山佛學院全景



九華山佛學院全景



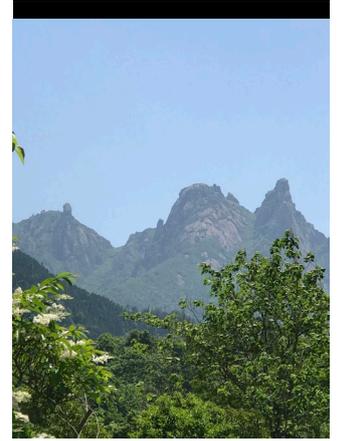
学内での皆さんと昼食



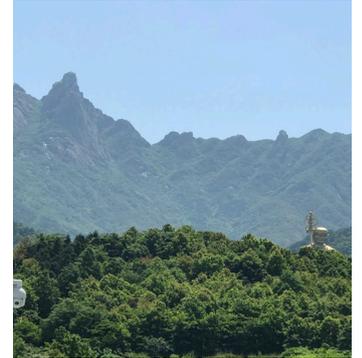
学生の宿舎全景



学寮で 4 人部屋



学内からの九華連山



安徽省の高さ 99m の地藏菩薩の大銅像は 2012 年 8 月に完成、地藏菩薩の霊場として知られる九華山では 3 億元（37 億円）を投じてこの大菩薩像を新たなランドマークに据える。重さにして総合計 1100t、3000 枚の銅板用い完成した。